

対象クラス	第2学年 ビジネス科・ビジネス情報科	単位数	2
使用教科書	図説 家庭基礎(実教出版)		
使用副教材	生活学Navi(実教出版)		

「家庭基礎」とはこんな科目です。
 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家庭や生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養っていくことを目的とした科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 ・一人の生活者として人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な技術を取得します。
 ・学んだ知識や技術を、自分や地域の生活の充実向上に活かすことができる人を目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	・定期考査 ・製作物実習 ・実技の状況
思考・判断・表現	3	・生涯を見通して家庭や地域及び社会における問題点を見つけ、学んだことを生かして生活の向上充実に役立てようとしている。	・定期考査 ・学習成果をまとめたレポートや製作物、実習 ・プリントやレポート
主体的に学習に取り組む態度	3	・自分や家族、地域について関心を持ち、積極的に課題点を解決するために参加し用途している。	・ホームプロジェクトへの取り組み状況 ・提出物の提出状況、発表態度

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 自分らしい生き方と家族 衣生活をつくる	・家庭基礎を学ぶ目的 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ ・自分を見つめる ・家族に関わる法律 ・男女共同社会 ・衣服の管理 ・衣服材料 ・衣服の選択と管理 ・被服製作(基礎縫い)	・家庭基礎を学ぶ目的を理解し、ホームプロジェクトと学校家庭クラブの意義を理解する。 ・自分らしく生きること、自立、将来のライフプランについて考える。 ・家族・家庭を守る法律について理解する。 ・並み縫い、まつり縫い、ボタン付け等基礎縫いができる。
	【前期中間考査】		
前期期末	住生活をつくる 子どもとかかわる ホームプロジェクトの実施・発表	・人と住まいのかかわり ・安全に配慮した住まい ・乳幼児の心身の発達 ・親の役割 ・子どもと遊び ・子どもの食生活 ・保育園実習 ・高齢社会の現状と課題 ・高齢者の心身の変化 ・ホームプロジェクトの計画・実施・発表	・人と住まいのかかわりについて理解する。 ・防災、家庭内事故の防止等安全で快適な住生活について考える。 ・子どもを持つことについての責任や意義について考える。 ・加齢に伴う身体変化について理解し、高齢社会の問題点がわかる。 ・事故の生活課題を発見し、計画に沿って問題解決に向けて実践する。
	【前期期末考査】		
後期中間	社会とかかわる 消費行動を考える 経済的に自立する	・共に生きるとは ・社会保障制度 ・契約と主体的な消費行動 ・消費者の権利と責任 ・消費者を守る制度・法律 ・持続可能な社会の構築 ・日々の収入・支出を把握する ・長期的な経済計画を立てる	・社会保障と福祉サービスについて理解し、公的介護制度について知る。 ・家庭経済の仕組みと家計管理の重要性を理解する。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。 ・持続可能な社会を理解し、安全で安心な生活を消費について考える。
	【後期中間考査】		

<p>学 年 末</p>	<p>食生活をつくる</p> <p>【学年末考査】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの食生活を健康 ・食品の選択と表示・食品の衛生 ・食品群別摂取量への取り組み ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を振り返り、現代の食生活の現状と問題点、食品の栄養等を理解する。 ・日本の食料自給率、食品の安全などの観点から食生活の現状を理解し、生活の課題がわかる。 ・日本・西洋・中国料理などの基本的な調理方法がわかる。
----------------------	--------------------------------------	---	--